



© Jacqueline Duhême

TISTOU

京都市役所緑政課附属都市ビオトープ研究所建設計画

むかしミルポワルという町にチトという名の、さわると何にでも花の咲く「みどりのゆび」をもった少年がいました。チトはこの指で、刑務所や病院を花いっぱいにし、戦場の砲という大砲に花を咲かせて戦争を中止させてしまいます…

「花はこんながおこるのをふせぎ、みどりは人をやさしくするんだよ・・・」

『みどりのゆび』(ドリュオン作、安藤次男訳、岩波書店)

現代の都市にも、そんなお話があつてよい。この計画は、都市にみどりを再導入したいという、至極単純な願いから構想された。

■プログラム

この計画は有機性廃棄物処理施設、都市ビオトープ研究所およびギャラリー部分から成る複合建築であり、京都市役所の付属施設として都市中心部にある市役所前広場の地下部に建設される。

□有機性廃棄物処理施設

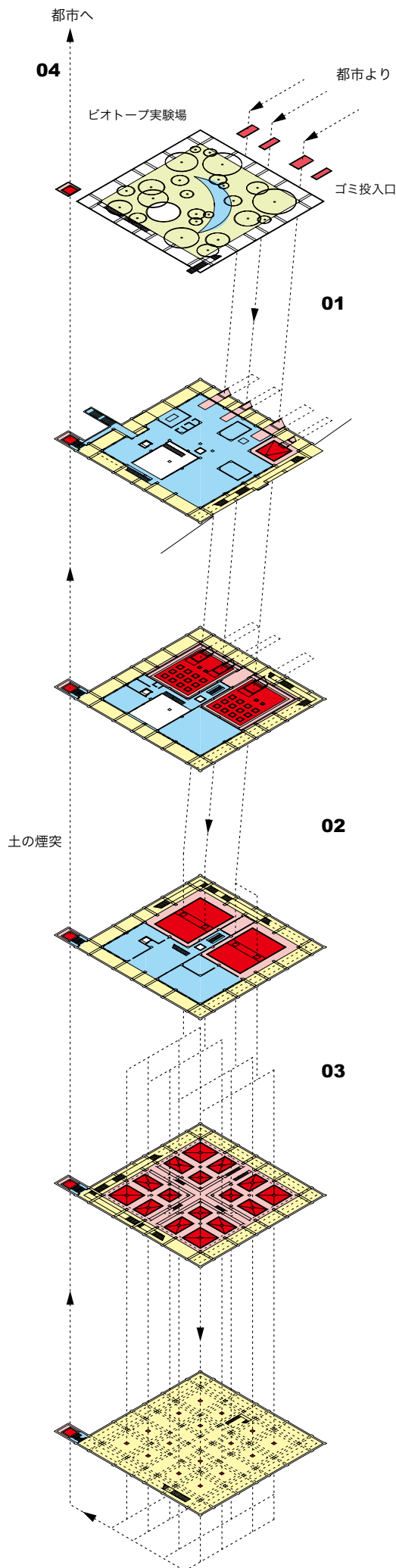
都市から発生する有機性「廃棄物」。すなわち100万の市民が日々意欲的に生産する食物残渣、伝統的住居空間への無理解と経済論理に基づき、行政の法的援護のもと組織的に推進される町家の大量虐殺によって生じる「廃材」=古木材・古畳・壁土など…

これら有機性の「廃棄物」を市内各地より集積、数段階の加工処理を施して強制的に発酵させ、栄養分に富んだ新たな「コンポスト(堆肥)」として再生することがこの施設の機能である。

製造されたコンポストは、垂直式ベルトコンベア「土の煙突」を通じ、原料生産地である都市へ、原料生産者である市民の頭上へと物理的に還元される。



© Jacqueline Duhême



■機能配置ダイアグラム

- 都市ビオトープ研究所
- 有機性廃棄物処理施設
- ギャラリー
- ゴミ〜コンポストの流れ

コンポストの製造過程

01 収集：市内より収集したゴミが市役所前広場に設置されたゴミ種別投入口へ投入される。

02 一次発酵：ゴミにおが屑を混入し、約14日間かけて有機物の分解促進を行う。

03 二次発酵：さらなる有機物分解および水分減少のため、約30日間かけて堆肥を熟成。

04 回帰：こうして熟成したコンポストは「土の煙突」により都市に回帰する。

□都市ビオトープ研究所

有機性廃棄物処理施設において製造されたコンポストを利用し、都市内(具体的には建物屋上部)に新たなビオトープ*をつくり出すことを目的として、諸研究・実験を行うための研究所である。ビオトープ実験場は市役所前広場の地上レベルに設置されるが、建物屋上部の状況を模すように周囲にはスリットがめぐらされ、市民はその存在を知り眺めるのみで立ち入ることは出来ない。

*ビオトープ BIOTOPE:「生息域」。その規模によらず、特定の生物や生物群集の生存可能な環境条件をそなえた土地を意味する。

□ギャラリー

正方形に刻まれたスリットの間隙に地下街へと続く階段が設けられる。これはそのまま延長され、市民に開放されたギャラリー通路となる。

ギャラリー階段はスリットの中を螺旋状に降下し、そこからは市民自らが生産した廃棄物が一月以上の時間を経て、次第に土へと変化していく過程、およびそれを可能とする施設の全容が観察される。

最深部(地下40m)においては、スリットからさしこむ仄かな光の中、林立する柱の間を熟成したコンポストが頭上から床の穴へと、砂時計のようにこぼれ落ちては消えていくという、この建築における最も神聖な空間・瞬間に立ち会うこととなる。

■コンポストの行方

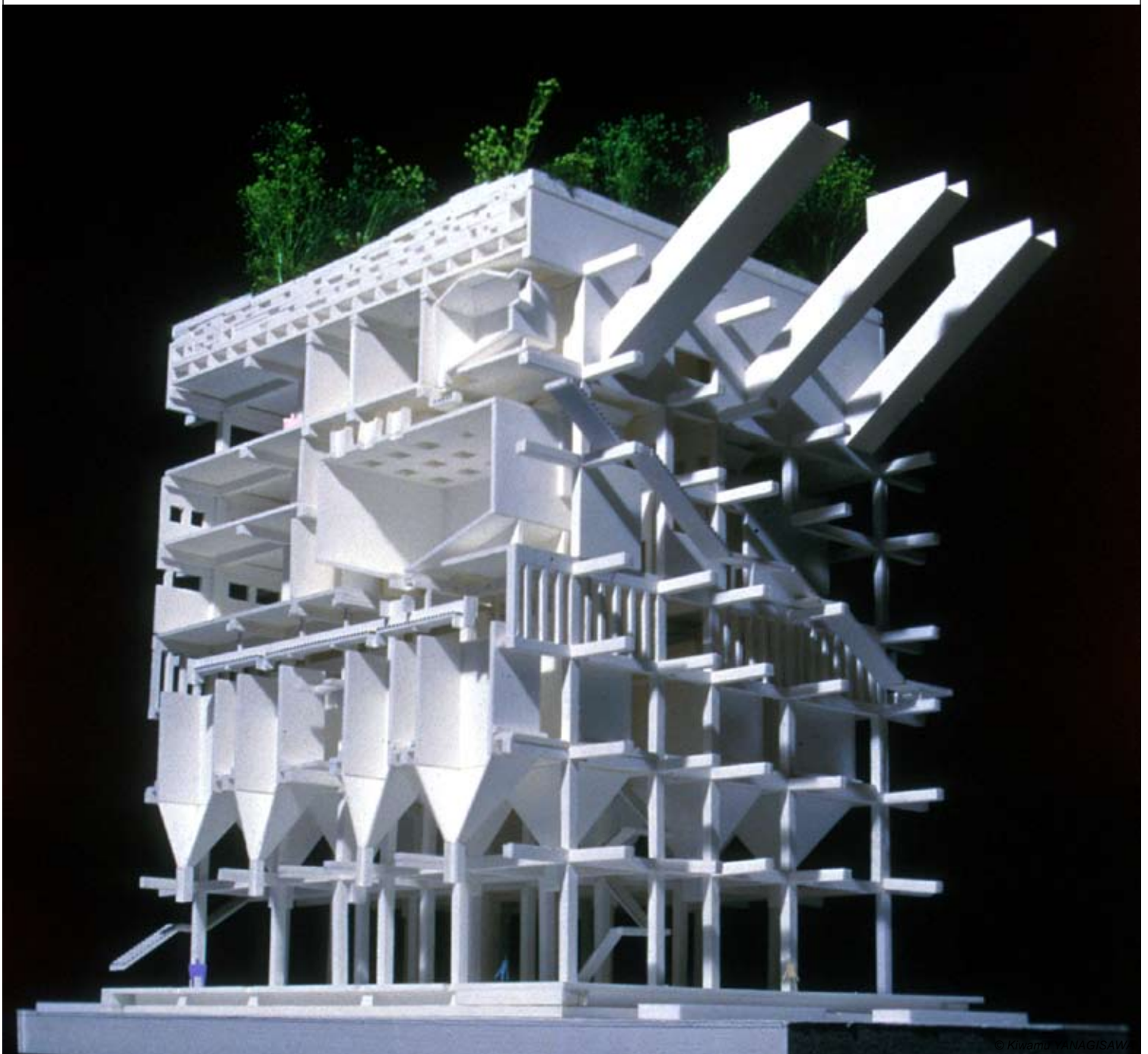
01: 製造されたコンポストは「土の煙突」により市役所屋上へと運ばれる。

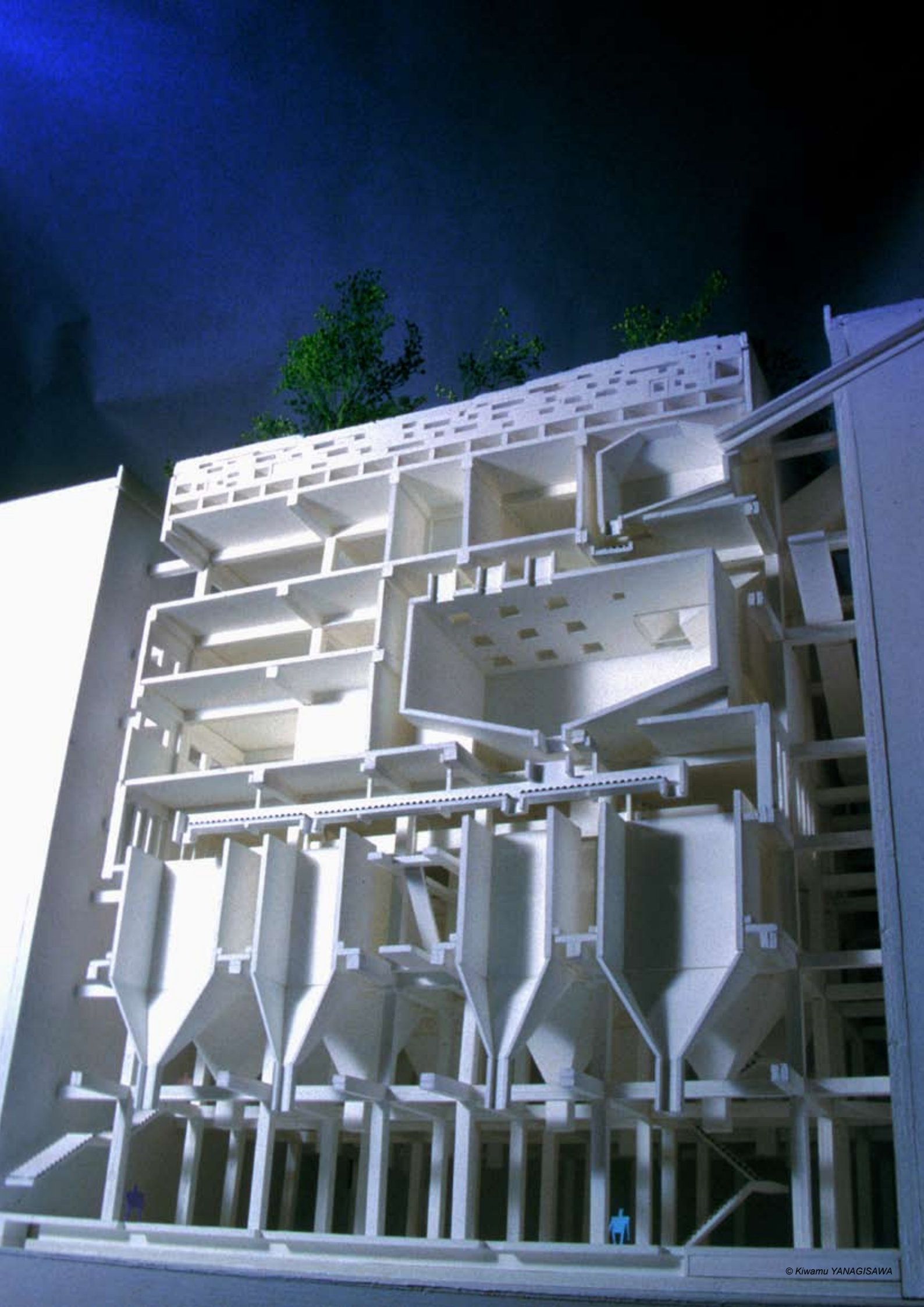
02: そこに草が生え木が育ち都市ビオトープが形成。

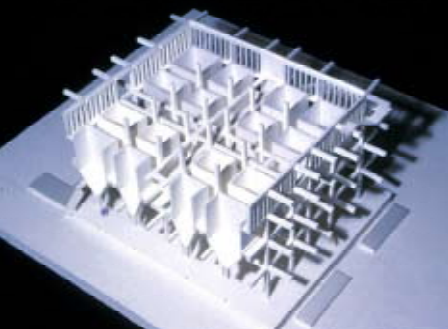
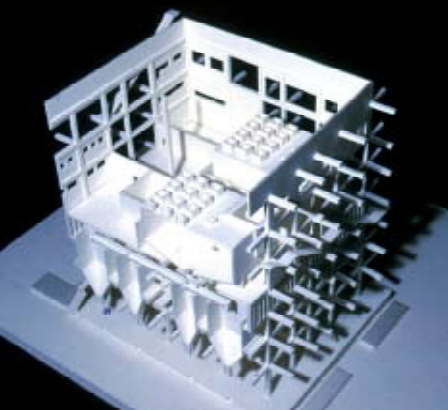
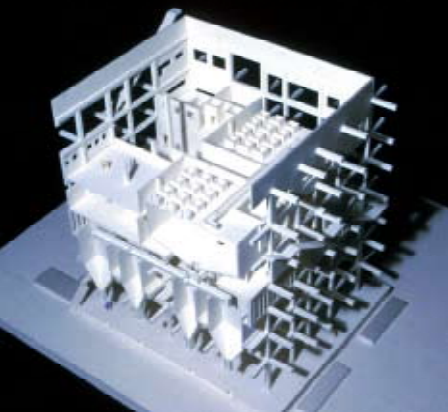
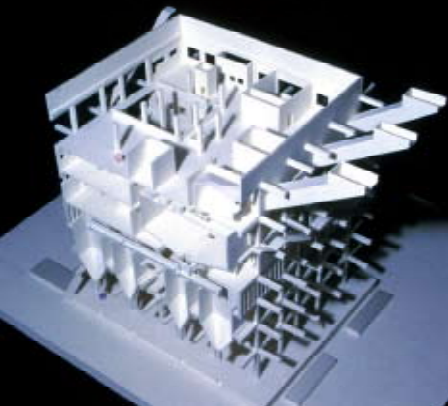
03: 次に土の煙突は隣接する京都ホテルに移設され、新たなビオトープが形成される。

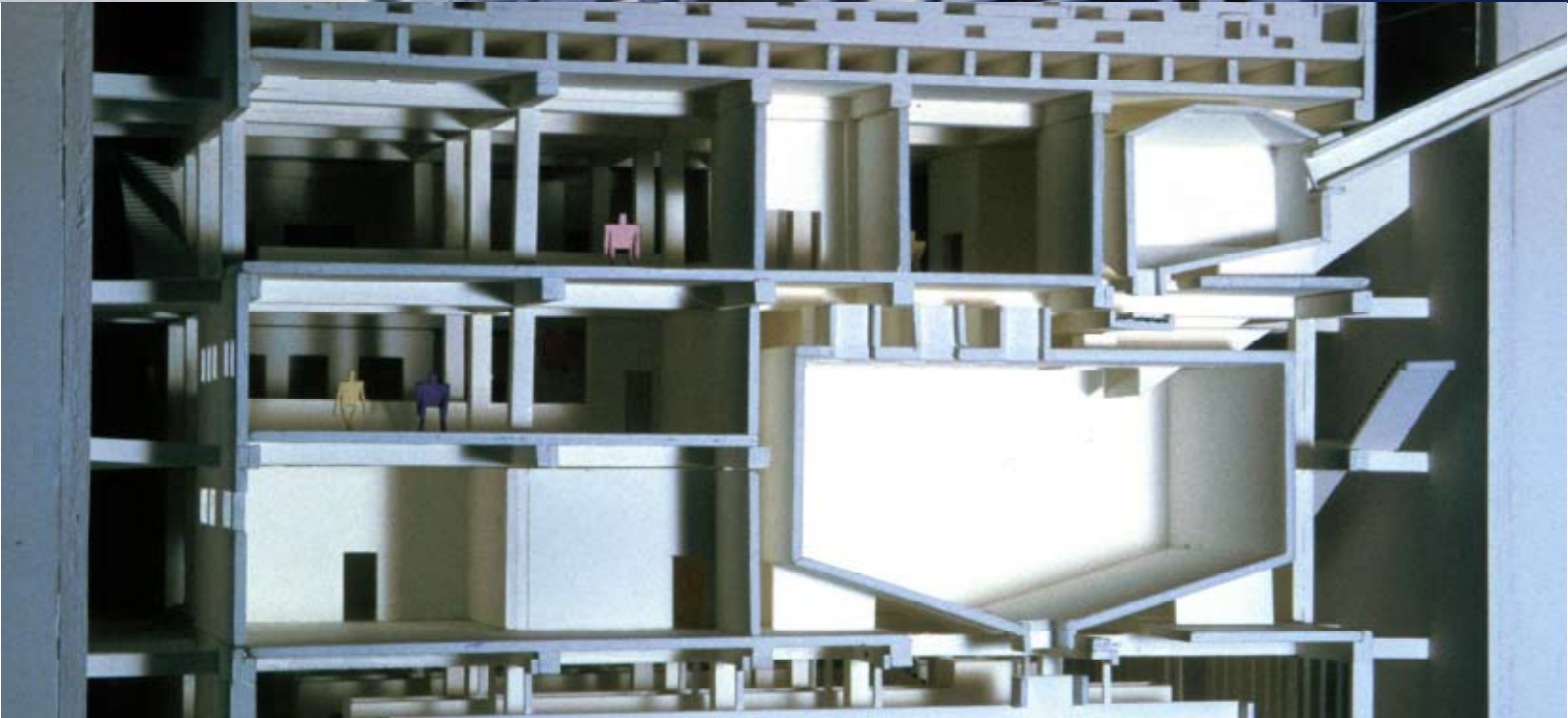
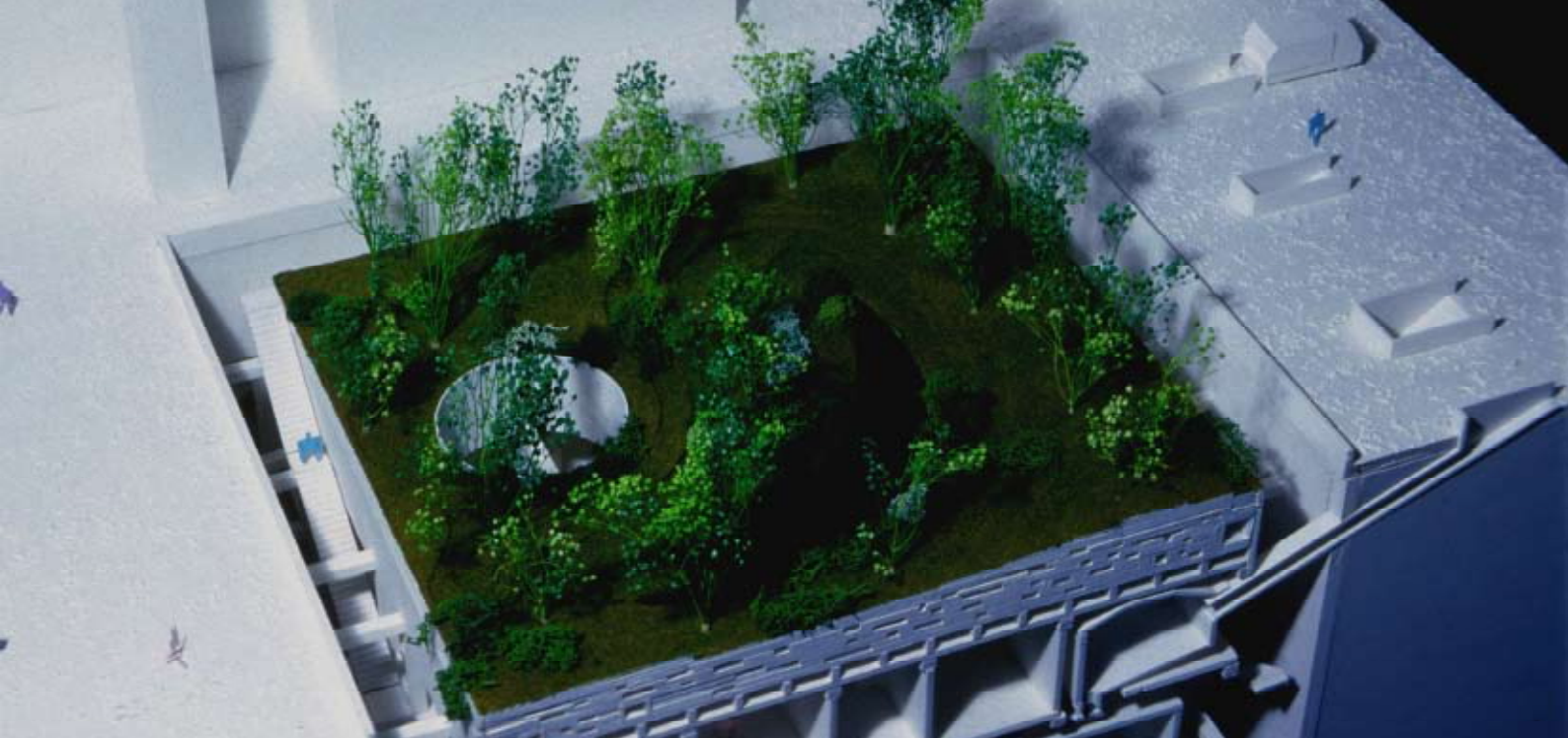
04: そしてまた次の屋上へと土の煙突は移動する。

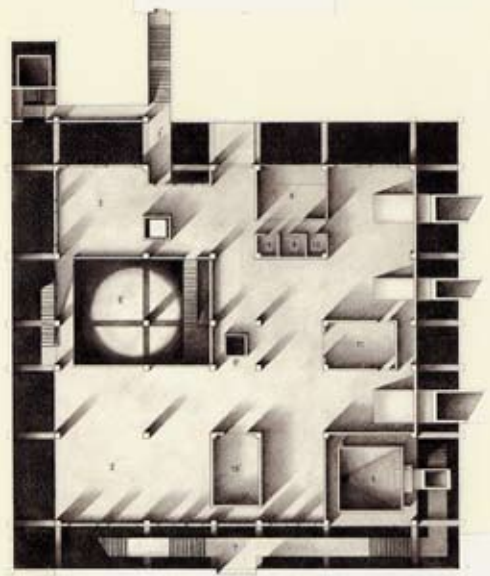
05: 次第に緑の帽子をかぶった建物が街中へ広がっていく。やがて道路にもあふれ出るだろう、都市にゴミのある限り…



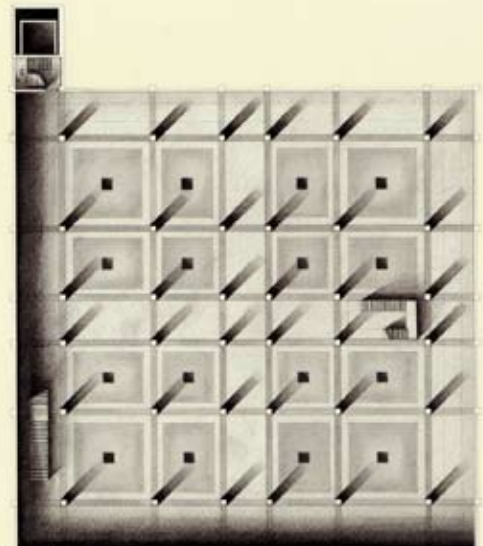
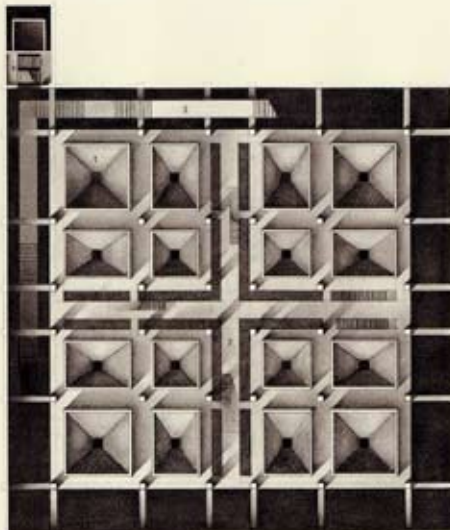


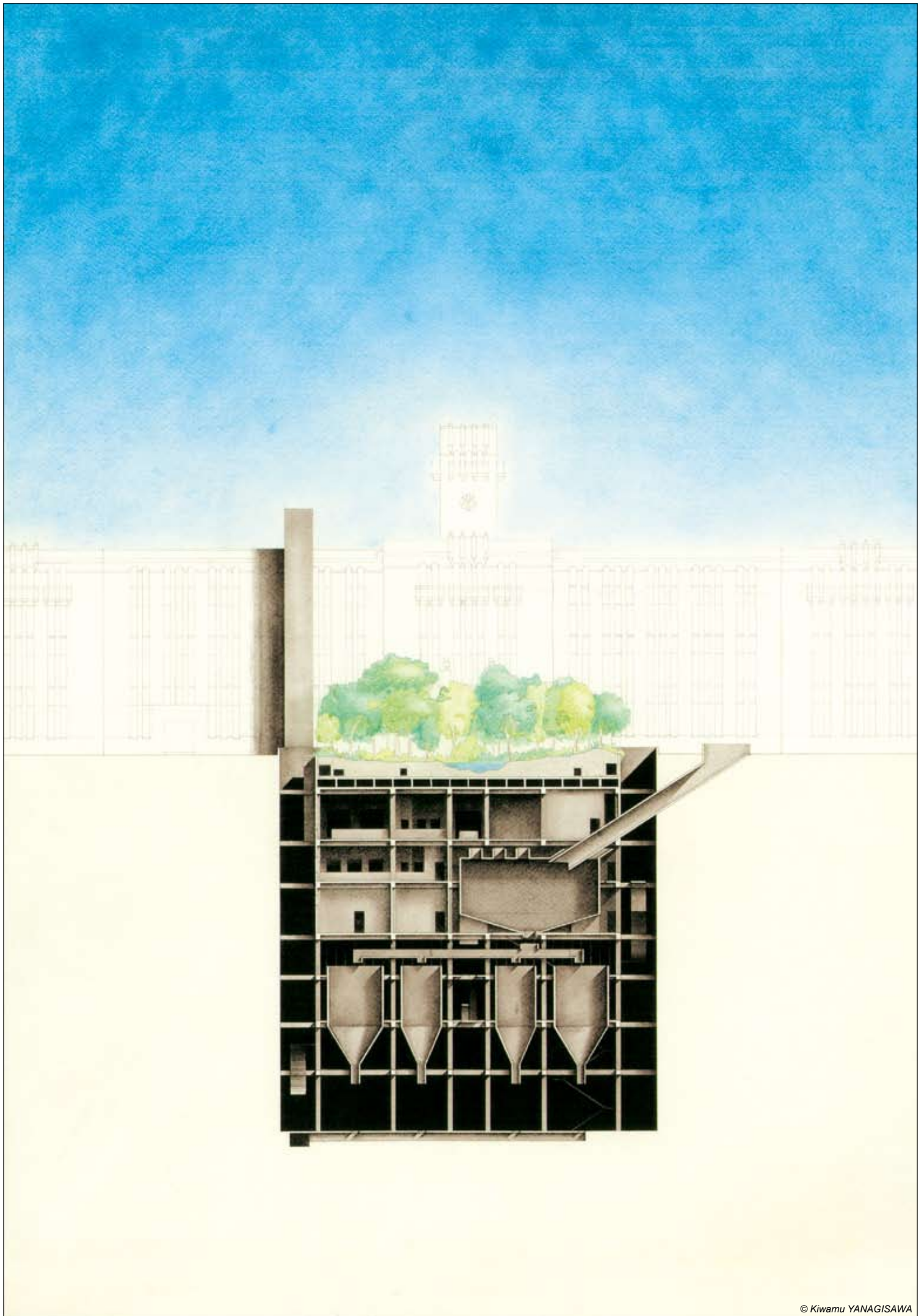


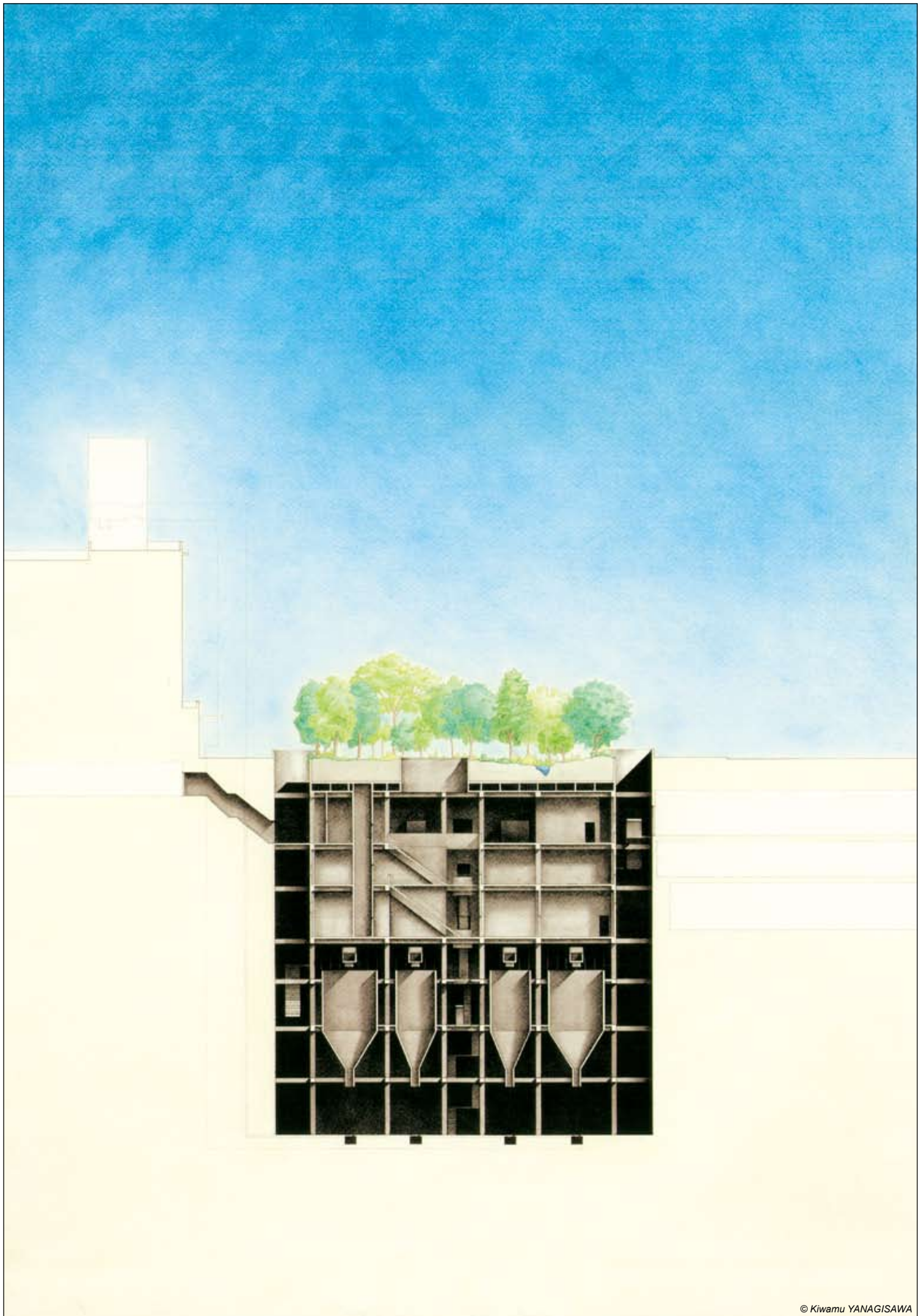




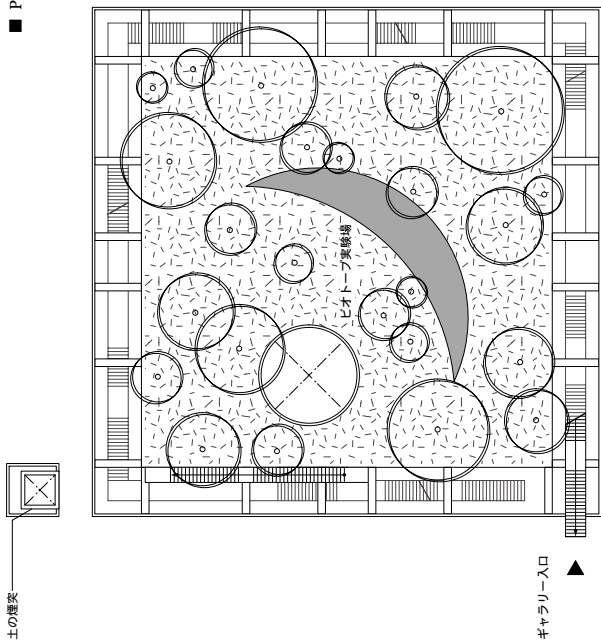
13



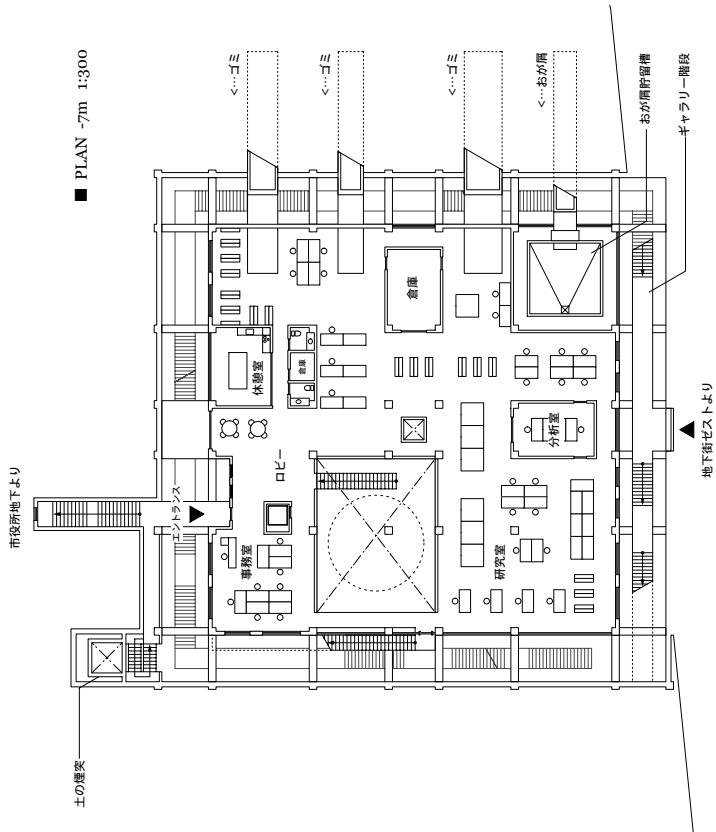




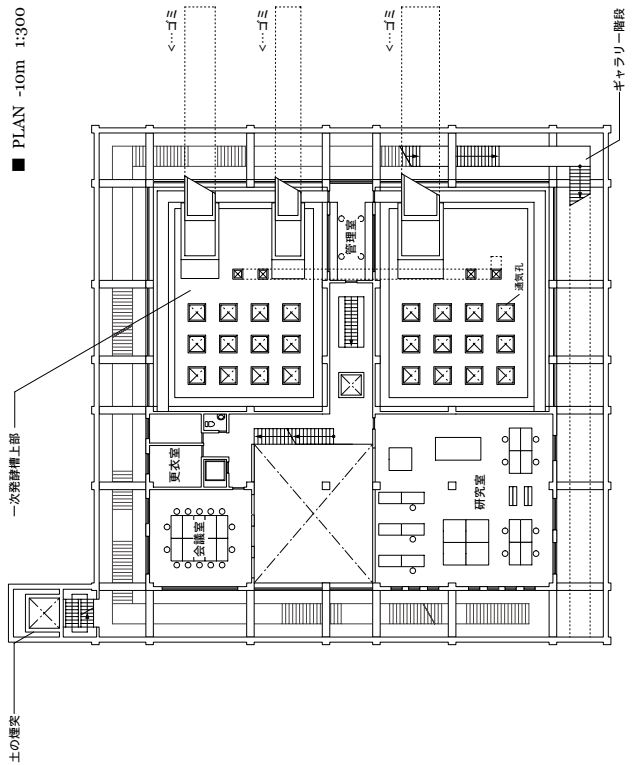
■ PLAN GL 1:300



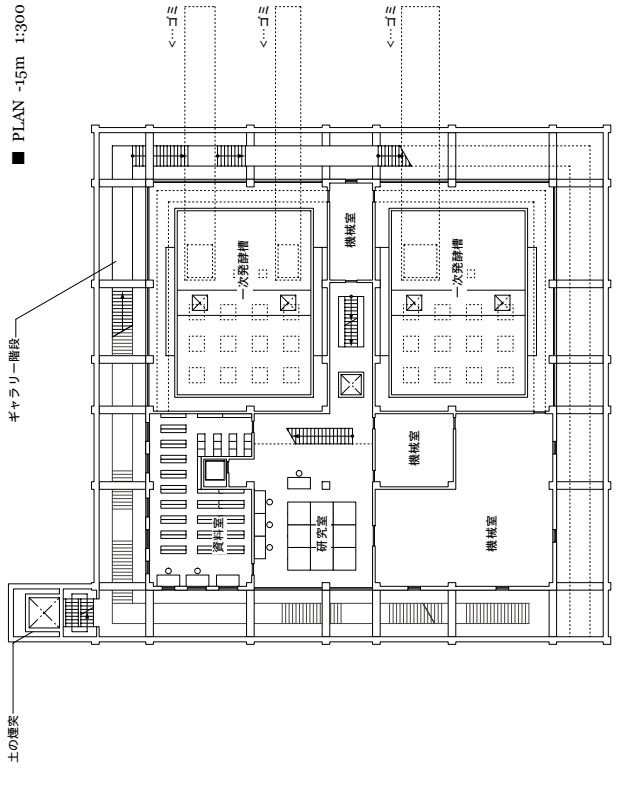
■ PLAN -7m 1:300



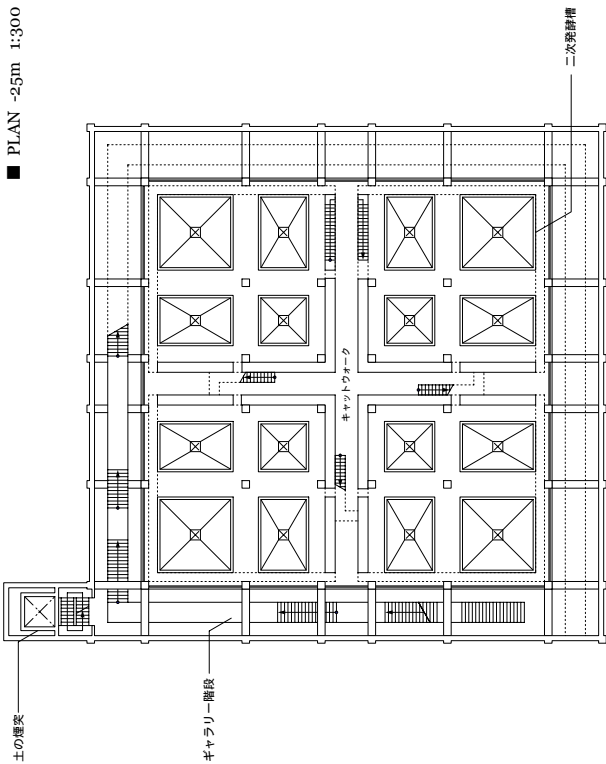
■ PLAN -10m 1:300



■ PLAN -15m 1:300



■ PLAN -25m 1:300



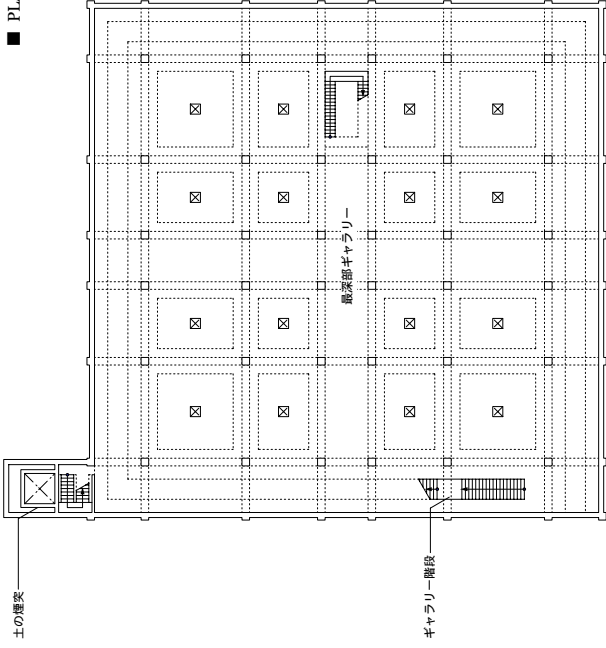
土の埋築

キャラリ-階段

キャットウォーク

二次発酵槽

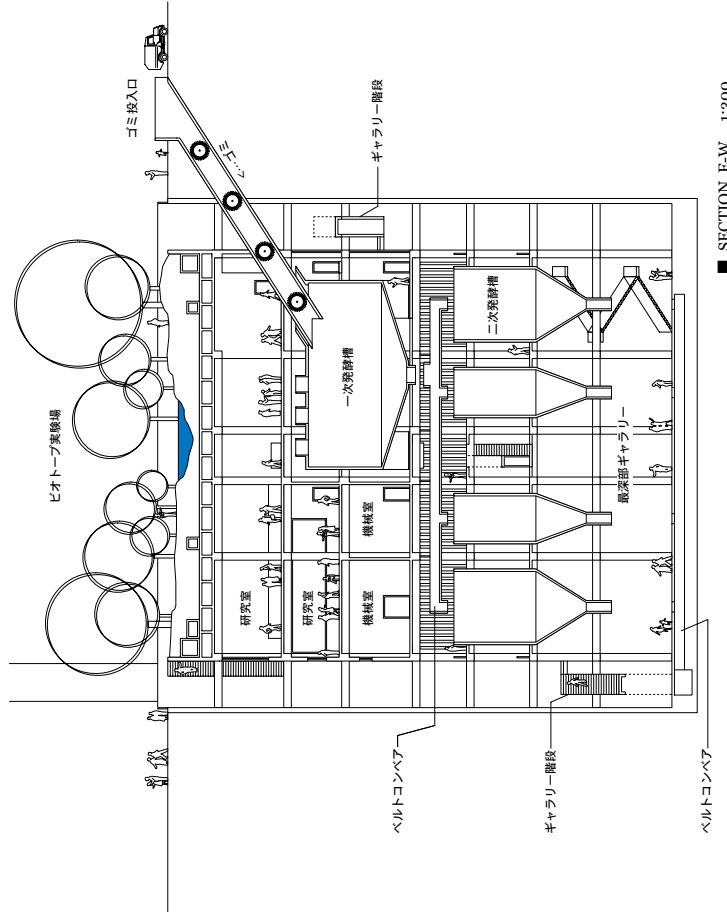
■ PLAN -38m 1:300



土の埋築

キャラリ-階段

最深部キャラリ-



バイオトープ実験場

ゴミ投入口

一次発酵槽

研究室

研究室

機械室

機械室

二次発酵槽

最深部キャラリ-

キャラリ-階段

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

土の埋築

バイオトープ実験場

市役所地下

エントランス

更衣室

資料室

研究室

研究室

機械室

機械室

二次発酵槽

最深部キャラリ-

キャラリ-階段

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

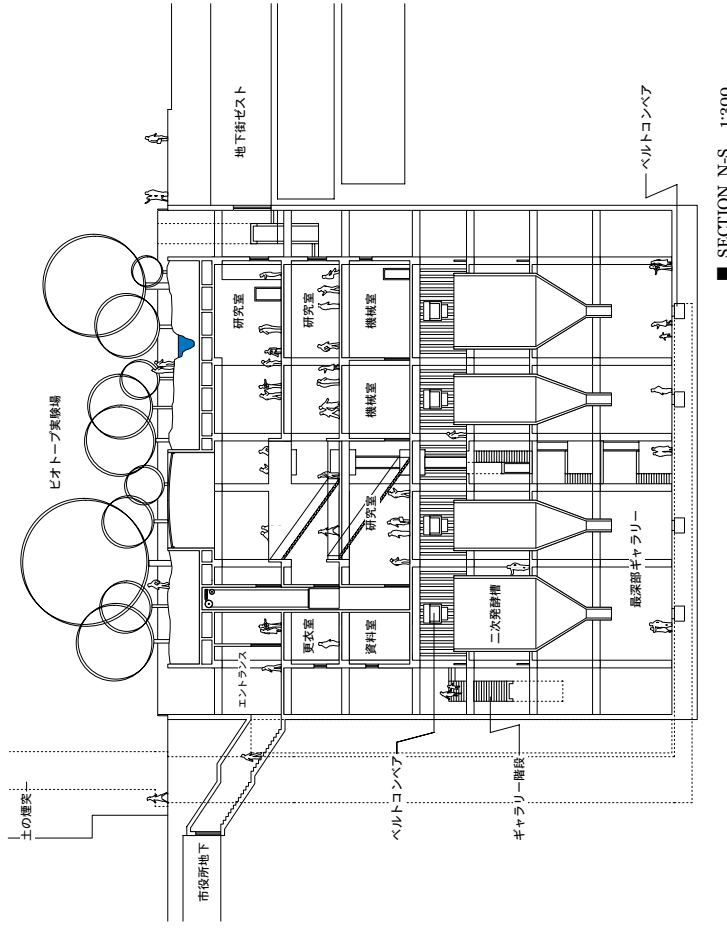
ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

■ SECTION E-W 1:300



土の埋築

バイオトープ実験場

市役所地下

エントランス

更衣室

資料室

研究室

研究室

機械室

機械室

二次発酵槽

最深部キャラリ-

キャラリ-階段

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

ベルトコンベア

■ SECTION N-S 1:300